

## 第46回 憲法を考える映画の会

いま、沖縄から憲法を考える——そこから見える基地、自衛隊、日米安保。

# OKINAWA1965

2018年11月3日(土・祝)

13時30分～15時10分

映画「OKINAWA1965」

(上映時間 95分)

15時20分～16時40分

トークシェア (嬉野京子さんも参加いただけることになりました)

参加費：一般1000円 学生 500円

文京区民センター 3A会議室

(地下鉄・春日駅/後楽園駅)

ドキュメンタリー映画「OKINAWA1965」

1960年代、沖縄。祖国復帰行進、非暴力を掲げた平和運動、奪われた土地をめぐる闘い——

さまざまな思いが交錯するなか、やがて沖縄は本土復帰を果たす。しかし、それは本物の平和の到来とは程遠いものだった。そして現在、私たちは沖縄が歩んできた歴史とどう向き合っているのだろうか……。

沖縄についてほとんど予備知識を持たない若い世代がドキュメンタリー映画の制作を通して見いだしたものは——

人との出会いをもとに沖縄の過去と現在を見つめた思索と探求の記録。

(七ツ森書館「OKINAWA1965」書籍 帯より)

1965年、米軍占領下の沖縄。

本土復帰を求める祖国復帰行進のさなか、報道写真家の嬉野京子さんによって、1枚の写真が撮られた。幼い少女が無残にも米軍のトラックに轢殺された、当時の沖縄の縮図とも言える写真だ。

アジア・太平洋戦争末期、凄惨な地上戦で多くの犠牲を払った沖縄には、戦後も安寧が訪れることはなかった。

県民の土地は、武力によって米軍に強奪され、そこに戦争のための基地が作られた。駐留する米兵の起こした事件は、さらに人々を傷つけた。沖縄の住民たちは立ち上がり、ついに本土復帰が果たされた。

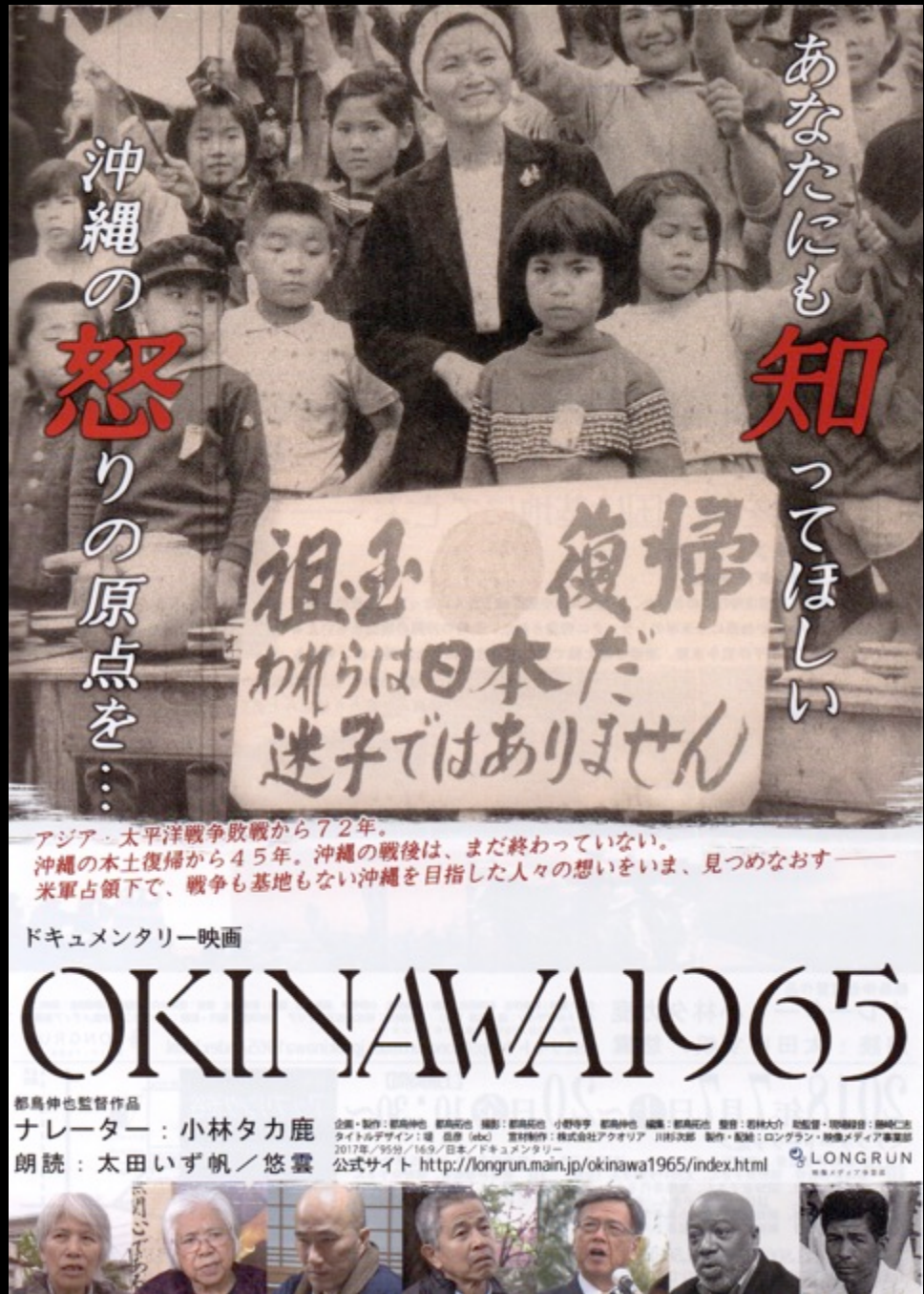
しかし“基地のない平和な沖縄に”という願いは未だ叶っていない。

この映画は、平和を求め続けた元海兵隊員の「アレン・ネルソンさんや、沖縄のガンジーこと、阿波根昌鴻さんを始めた人々の、想いの記録。沖縄の戦後はまだ終わっていない。求めるものは新辺野古基地建設断念、ひいてはすべての基地の廃止。そして平和な未来への願い——

2017年/日本映画/95分 都島伸也 監督作品

主催：憲法を考える映画の会

共催：映画「憲法を武器として」上映会



### 私たちが この映画を選んだわけ

2018年11月3日は、日本国憲法が公布されて72年目の日です。私たちはこの日、憲法に関わる映画を上映して、憲法について、あらためて考える会にしたいと思います。戦後、軍政下におかれていた沖縄の人たちは、平和憲法のある日本、戦争を放棄した日本に復帰したいと願っていました。しかし、復帰の式典で最初の沖縄県知事の屋良朝苗さんが言った「復帰の内容を見ますと必ずしも私どもの(基地のない沖縄という)切なる願望が入れられたとは言えない」というのが、多くの沖縄の人たちの気持ちだったと思います。

沖縄は、今も基地を通して戦争につながったままです。「軍政下の沖縄がどのようなだったか?」「復帰後も憲法がまもられないのはどうしてか?」そこに立ちはだかっている日米安保。沖縄の戦後から日本国憲法を考え、今、このような状況で自分たちは、何をしていくか、考えて行きたいと思います。

### 憲法を考える映画の会

〒185-0024 東京都国分寺市泉町3-5-6-303

TEL: 042-406-0502

ホームページ: <http://kenpou-eiga.com>

E-mail: [hanasaki33@me.com](mailto:hanasaki33@me.com)

Facebook: 憲法を考える映画の会

# 「憲法を考える映画」の上映を あちこちで…

憲法を考える映画の会では、「憲法の映画を見て一緒に考える場づくり」を地域に、地方に、拡げていくお手伝いをしたいと思います。

詳しくは「憲法を考える映画のリスト」をご覧ください。→



## これまでの上映作品一覧



第1回 2013年4月06日  
**戦争をしない国 日本**



第2回 2013年5月19日  
**八十七歳の青春**  
市川房枝生涯を語る



第3回 2013年6月15日  
**映画 日本国憲法**



第4回 2013年7月06日  
**日本国憲法誕生**



第5回 2013年8月10日  
**日本の青空**



第6回 2013年9月14日  
**ベアテの贈りもの**



第7回 2013年11月02日  
**ショック・ドクトリン**



第8回 2013年11月30日  
**レーン・宮沢事件**



第9回 2014年1月18日  
**ニッポンの嘘**  
報道写真家  
福島菊次郎90歳



第10回 2014年2月08日・3月1日  
**“私”を生きる**



第11回 2014年4月12日  
**9条を抱きしめて**



第12回 2014年5月24日  
**死んだらヒマはない**  
益永スミコ86歳



第13回 2014年7月19日  
**ファルージャ**  
イラク戦争  
日本人人質事件…そして



第14回 2014年9月21日  
**ありふれたファシズム**  
野獣たちのバラード



第15回 2014年11月22日  
**ANPO**  
あの熱かった時代の  
「抵抗」のアート



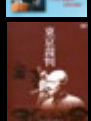
第16回 2015年3月14日  
**証言 侵略戦争**  
**証言 中国人強制連行**



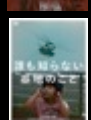
第17回 2015年4月25日  
**イラク 戦場からの告発**  
**ジャーハダ イラク民衆の闘い**  
**シリア内戦 イスラム国の正体を暴く**



第18回 2015年6月13日  
**井上ひさし 九条を語る**  
**加藤周一 九条を語る**  
**女性達にとっての日本国憲法**



第19回 2015年7月18日  
**東京裁判**



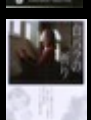
第20回 2015年9月13日  
**誰も知らない基地のこと**



第21回 2015年10月25日  
**首相官邸の前で**



第22回 2015年11月28日  
**ハーツ・アンド・マインズ**  
**ベトナム戦争の真実**



第23回 2016年1月31日  
**白バラの祈り**  
ゾフィー・ショル、最後の日々



第24回 2016年3月26日  
**グラニート**  
独裁者を追い詰める



第25回 憲法映画祭 2016年5月1日  
**映画 日本国憲法**  
**ありふれたファシズム**  
**ショック・ドクトリン**



第26回 2016年6月26日  
**ザ・思いやり**



第27回 2016年7月24日  
**ハトは泣いている**  
時代（とき）の肖像



第28回 2016年9月17日  
**焼け跡から生まれた**  
**憲法草案**



第29回 2016年10月15日  
**NO (ノー)**



第30回 2016年11月3日  
**わたしの自由について**  
**SEALDs 2015**



第31回 2017年1月29日  
**横浜事件を生きて**  
**横浜事件半世紀の問い**



第32回 2017年2月25日  
**小林多喜二**



第33回 2017年3月26日  
**武器なき斗い**



第34回 憲法映画祭 2017年4月29・30日  
**意志の勝利 / 白バラの祈り**  
**夜と霧 / 顔のないヒトラーたち**  
**戦争をしない国 日本**  
**大東亜戦争 / 天皇と軍隊**



第35回 2017年5月27日  
**知事抹殺の真実**



第36回 2017年7月1日  
**テロリストは誰？**



第37回 2017年8月27日  
**戦ふ兵隊**  
**日本の悲劇**



第38回 2017年10月14日  
**隠された爪跡**  
**払い下げられた朝鮮人**



第39回 2017年12月10日  
**ジョン・ラーベ**  
**南京のシンドラ**



第40回 2018年1月27日  
**憲法を武器として**  
**恵庭事件50年目の真実**



第41回 2018年2月25日  
**ザ・思いやりパート2**  
**希望と行動編**



第42回 憲法映画祭 2018年4月29日・30日  
**すべての政府はウソをつく/ニッポンの嘘**  
**東京裁判/NO/ハトは泣いている**  
**トランプのアメリカ**



第43回 2018年6月3日・30日  
**500年 権力者を裁くのは誰か**  
**グラニート 独裁者を追い詰める**



第44回 2018年8月25日  
**在日**



第45回 2018年9月23日  
**スペシャリスト 自覚なき殺戮者**